

公表

ワーカーズコープこもれび

○事業所名	ワーカーズコープこもれび		
○保護者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2026年2月2日		2026年2月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもおよび保護者からの満足度と安心感	日々行っている活動や季節の行事、昼食やおやつにないが食べたいかなど、子ども達から意見や要望を詳細に聞き些細なことでも極力取り入れるようにしている。 保護者からの要望(延長対応、送迎など)についても柔軟に対応している。	保護者からの意見・要望を全て叶えることは難しいが、出来る限り努力していきたい。
2	室内環境の充実と設定	日頃子供たちが遊びの場として過ごしているプレールームは、不必要な家具を置かず、死角をなくし、子ども達の活動が見渡せるようにしている。 また、一人で過ごしたい子どもには脱衣所やキッチン等を解放して個別の空間を設けることも可能である。	今後も職員が子ども達に目が行き届くように配慮を怠らないようにしたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会と提供 (児童クラブ・児童館・地域の子どもと活動する機会の提供)	知的・身体・情緒など、様々な障害を抱えた利用者が一堂に会することは、人間的にも設備的にも難しい。事業所に招く場合も慣れない人が大勢集まることでストレスを感じながら過ごす子どもが出てくるのではないかと予想される。 しかし、保護者からの意見として地域交流を望んでおり可能な限り取り組んでいきたい。	交流を行う場合は、少人数であれば実施可能と考えている。 近隣の児童館の利用を検討していきたい。
2	非常時の対応	非常食などの災害備蓄品は準備しているが、利用者と職員となると十分に行き届かない恐れがある。 「緊急時における施設での対応について」のマニュアルを書面やメールにて配布したが、上手く伝わってないと感じる。	備蓄品の補充と定期的な情報共有など、情報伝達に力を入れていく。
3			